

## 2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月13日

上場会社名 株式会社フォーサイド 上場取引所 東  
 コード番号 2330 URL <https://www.forside.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 根津 孝規  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯田 潔 TEL 03 (6262) 1056  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	979	△10.7	△53	—	△55	—	△64	—
2021年12月期第1四半期	1,097	25.4	29	—	30	—	56	—

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 △63百万円 (—%) 2021年12月期第1四半期 52百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	△1.97	—
2021年12月期第1四半期	1.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第1四半期	4,187	1,103	26.3	33.82
2021年12月期	4,426	1,166	26.3	35.76

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 1,100百万円 2021年12月期 1,163百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 2022年12月期の配当予想は今後の業績見通し等を踏まえて判断することにしていないため未定であります。

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,017	2.5	133	△28.9	125	△31.5	107	24.6	3.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	32,557,704株	2021年12月期	32,557,704株
② 期末自己株式数	2022年12月期1Q	18,254株	2021年12月期	18,064株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	32,539,527株	2021年12月期1Q	32,540,987株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、変異株(オミクロン株)の急激な感染拡大やウクライナ情勢の緊迫化、原油をはじめとする資源価格の高騰等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域であるプライズ事業を含むアミューズメント市場におきましては、3月下旬にまん延防止等重点措置が全面解除されたことにより、通常営業を再開するにいたりましたが、依然として、アミューズメント施設の利用を控える動きや滞在時間の短縮傾向が見られる等、コロナ禍前の水準に戻るには時間が掛かるものと予想されます。

住宅市場におきましては、2022年3月の新設住宅着工戸数が前年同月比6.0%の増加となり、前年同月比で13ヶ月連続の増加となりました。また、貸家着工戸数においても、前年同月比で13ヶ月連続の増加となる等、回復傾向にあるものの、資源価格が高止まりしており、引き続き注視が必要です。

このような経済状況の中、当社グループにおいては、主力事業であるプライズ事業・不動産関連事業における営業活動の更なる強化、出版事業を中心とした事業ポートフォリオの拡大、全社でのコストの見直しや削減に取り組むことで、事業収益の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は979,615千円(前年同期比10.7%減)、営業損失は53,414千円(前年同期は営業利益29,178千円)、経常損失は55,565千円(前年同期は経常利益30,548千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は64,192千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益56,125千円)となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

#### ①プライズ事業

プライズ事業につきましては、株式会社ブレイクがクレーンゲーム機等のプライズゲーム用品品の企画・製作・販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、キャラクターグッズや雑貨系商材の製造・販売を強化し、販路の拡大に努めてまいりました。一方で、前年に人気のあったキャラクターグッズの需要が減少した反動が大きく、売上高、セグメント利益ともに、減少いたしました。

以上の結果、売上高は481,953千円(前年同期比21.5%減)、セグメント利益は25,583千円(前年同期比36.1%減)となりました。

#### ②不動産関連事業

不動産関連事業につきましては、日本賃貸住宅保証機構株式会社が家賃保証業務及び物件管理業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、顧客(不動産会社・賃貸人・賃借人)に寄り添った丁寧な対応に努めてまいりました。営業面においては、新規取引店の獲得や既存取引先の再稼働等、営業強化・拡大に向けての取り組みを行いました。また、与信審査及び債権管理業務の効率化にも取り組み、管理回収部門においては、公的支援制度の案内を行う等、状況に応じた顧客管理に努めてまいりましたが、営業強化・拡大によるコストの増加により、セグメント利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は324,814千円(前年同期比8.2%減)、セグメント利益は29,374千円(前年同期比47.8%減)となりました。

#### ③投資銀行事業

投資銀行事業につきましては、フォーサイドフィナンシャルサービス株式会社がM&Aのアドバイザー業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、期初より進捗に遅れが生じ、案件の成約に至らなかったことから、売上高及びセグメント利益ともに大幅に減少いたしました。

以上の結果、売上高はなく(前年同期は7,940千円)、セグメント損失は33,145千円(前年同期はセグメント損失10,722千円)となりました。

## ④コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、株式会社ポップティーンが電子書籍配信サイト「モビぶっく」の運営を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、費用対効果を重視したプロモーション施策を継続し、新規顧客の獲得に努めてまいりました。また、既存ユーザーに対して、取扱い作品数の拡充やサイトのユーザビリティの向上を図ることで、顧客継続率を高めるための施策を行ってまいりました。

以上の結果、売上高は36,712千円（前年同期比43.6%減）、セグメント利益は3,154千円（前年同期比132.9%増）となりました。

## ⑤イベント事業

イベント事業につきましては、株式会社ブレイクが各地の大型商業施設の催事場にて著名なコンテンツの展示販売を中心に行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、多くのイベントが収容人数を制限する等、コロナ対策を徹底した中で開催されており、引き続き厳しい状況が続いております。一方で、その他OEM物販が好調に推移したことにより、売上高、セグメント利益ともに、前年の実績を大幅に上回りました。

以上の結果、売上高は56,043千円（前年同期比135.1%増）、セグメント利益は878千円（前年同期はセグメント損失7,745千円）となりました。

## ⑥マスターライセンス事業

マスターライセンス事業につきましては、主に株式会社マーベラスアークが音楽関連事業を行い、フォーサイドメディア株式会社及び株式会社ポップティーンが出版事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、アイドルグループ「BLACKNAZARENE」において、ニューシングルのリリースやワンマンライブを開催する等、コロナ禍で一定の制限を受ける中でも、精力的に音楽事業活動を進めてまいりました。

出版事業においては、誌面付録の充実や人気タレントを表紙に起用する等、新規読者層の拡大を目指してまいりました。また、Youtubeチャンネル「Popteen TV」や「Cuugal CH」に注力し、デジタルネイティブ世代の取り込みを図るとともに、誌面と連動した動画企画を充実させることで、誌面売上に依存しない事業モデルの確立を目指してまいりました。

以上の結果、売上高は79,960千円（前年同期比144.9%増）、セグメント損失は42,279千円（前年同期はセグメント損失11,988千円）となりました。

## ⑦その他の事業

その他の事業においては、主にフォーサイドフィナンシャルサービス株式会社が金融事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、延滞債権の回収に注力し、貸付金の回収に努めました。

以上の結果、売上高は131千円（前年同期比46.5%減）、セグメント利益は53千円（前年同期比68.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①総資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて239,186千円減少し4,187,386千円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金の減少150,138千円及び売上債権の減少163,822千円等によるものであります。

## ②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて175,634千円減少し3,084,003千円となりました。主な要因といたしましては、未払法人税等の減少113,739千円及び支払手形及び買掛金の減少71,269千円等によるものであります。

## ③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて63,552千円減少し1,103,383千円となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純損失64,192千円を計上したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の連結業績予想につきましては、「2021年12月期決算短信」における通期の業績予測から変更しておりません。

なお、本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,263,904	1,113,766
受取手形及び売掛金	686,051	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	522,228
商品	246,680	265,147
短期貸付金	15,988	15,889
収納代行未収金	1,133,693	1,160,323
代位弁済立替金	374,897	422,576
その他	120,242	152,127
貸倒引当金	△348,337	△397,502
流動資産合計	3,493,121	3,254,556
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	120,545	118,814
土地	153,155	153,155
その他（純額）	7,917	7,162
有形固定資産合計	281,618	279,132
無形固定資産		
ソフトウェア	27,588	25,770
のれん	20,185	19,000
その他	18	18
無形固定資産合計	47,791	44,788
投資その他の資産		
投資有価証券	186,729	187,679
長期貸付金	393,287	392,977
敷金	41,545	46,258
長期未収入金	30,500	30,500
その他	16,018	15,531
貸倒引当金	△64,038	△64,038
投資その他の資産合計	604,042	608,909
固定資産合計	933,452	932,829
資産合計	4,426,573	4,187,386

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	255,201	183,932
未払金	1,208,864	1,210,320
未払法人税等	123,167	9,428
前受収益	418,880	481,676
短期借入金	225,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	76,790	83,266
債務保証損失引当金	89,920	90,820
賞与引当金	—	7,500
その他	324,687	301,398
流動負債合計	2,722,511	2,558,342
固定負債		
長期借入金	529,260	507,486
利息返還損失引当金	7,365	7,345
その他	500	10,828
固定負債合計	537,125	525,660
負債合計	3,259,637	3,084,003
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	86,201	86,193
利益剰余金	979,632	915,439
自己株式	△3,701	△3,710
株主資本合計	1,162,131	1,097,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	621
為替換算調整勘定	1,340	1,791
その他の包括利益累計額合計	1,340	2,413
新株予約権	100	100
非支配株主持分	3,364	2,948
純資産合計	1,166,936	1,103,383
負債純資産合計	4,426,573	4,187,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
営業収益		
売上高	743,440	654,669
その他の営業収益	354,158	324,945
営業収益合計	1,097,598	979,615
営業原価		
売上原価	562,617	492,697
その他の原価	92,231	83,325
営業原価合計	654,848	576,023
売上総利益	442,750	403,592
販売費及び一般管理費	413,571	457,006
営業利益又は営業損失(△)	29,178	△53,414
営業外収益		
受取利息	1,724	2,046
為替差益	1,495	58
その他	1,693	415
営業外収益合計	4,914	2,521
営業外費用		
支払利息	1,424	3,768
貸倒引当金繰入額	1,744	844
その他	375	60
営業外費用合計	3,545	4,672
経常利益又は経常損失(△)	30,548	△55,565
特別利益		
新株予約権戻入益	16,000	—
事業譲渡益	15,538	—
特別利益合計	31,538	—
特別損失		
固定資産除却損	367	—
特別損失合計	367	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,719	△55,565
法人税、住民税及び事業税	5,594	9,043
法人税等合計	5,594	9,043
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,125	△64,608
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△415
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	56,125	△64,192

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,125	△64,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,124	621
為替換算調整勘定	△756	451
その他の包括利益合計	△3,880	1,072
四半期包括利益	52,244	△63,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,244	△63,119
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△415

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	プライズ	不動産関連	投資銀行	コンテンツ	イベント	マスター ライツ
売上高						
外部顧客への売上高	613,793	353,978	7,940	65,147	23,837	32,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	613,793	353,978	7,940	65,147	23,837	32,654
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	40,031	56,284	△10,722	1,354	△7,745	△11,988

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	246	1,097,598	—	1,097,598
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	246	1,097,598	—	1,097,598
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	171	67,385	△38,206	29,178

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業その他を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△38,206千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					
	プライズ	不動産関連	投資銀行	コンテンツ	イベント	マスター ライセンス
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	481,953	305,125	—	36,712	56,043	79,960
その他の収益(注)4	—	19,688	—	—	—	—
外部顧客への売上高	481,953	324,814	—	36,712	56,043	79,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	481,953	324,814	—	36,712	56,043	79,960
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	25,583	29,374	△33,145	3,154	878	△42,279

(単位:千円)

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
顧客との契約から生 じる収益	131	959,926	—	959,926
その他の収益(注)4	—	19,688	—	19,688
外部顧客への売上高	131	979,615	—	979,615
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	131	979,615	—	979,615
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	53	△16,379	△37,034	△53,414

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業その他を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△37,034千円は、各報告セグメントに配分していない  
全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。